

和歌山東南ロータリークラブ

国際ロータリー第2640地区

2004~2005



週報

クラブ会報委員会

委員長:井畑順三 副委員長:鯨 拓也
委員:竹中昭美 栗原 登

本日(5月25日通算1677回目 本年度41回目)の例会

会員卓話 「GSE委員を担当して」 山本唯二 会員

本日のソング 奉仕の理想

2004~2005会長:中村美之/副会長:八塚啓司/幹事:神谷尚孝/SAA:郷間博敏
〒640-8227 和歌山市西汀丁26 経済センター7階 TEL.073-423-8666 FAX.073-423-7200
E-mail:a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary/rotary.html
例会日時:第1・2水曜日(18:30)/第3・4・5水曜日(12:30) 例会場:「華月殿」(和歌山市屋形町2-10)
2004~2005年度RIテーマ ~ロータリーを祝おう~
RI会長:グレン E. エステス シニア 2640地区ガバナー:中島治一郎(泉大津RC)

先週(5月18日通算1676回目 本年度40回目)の例会報告

郷間SAA

出席報告 【会員数】 40名(内出席免除会員5名・名誉会員1名)

出席率をアップさせよう

◇前回(5月18日)24名(68.57%)◆メークアップ後(4月27日)31名(88.57%)

出席委員長 駒阪純章

来訪者紹介 ゲスト 和歌山県立図書館 館長 岡井省三様

親睦委員長 竹中昭美

会長報告 中村美之 会長

今日は、ゲストの和歌山県立図書館長、岡井省三様に後程卓話をお願いしております。宜しくお願い申し上げます。

昨日、神谷幹事と、西山会員のお見舞いに行き参りました。ご本人には会うことができず奥様にお会いして来ました。少しずつ回復をしているとの状況でした、ご報告申し上げます。

「ロータリー年度100年の変遷」

- ・1980年(昭和55年)25年前。イラン・イラク戦争勃発。第22回モスクワ五輪開幕、59カ国がボイコット。日本車の生産台数アメリカを抜き世界一に。「恋人よ」
- ・1981年(昭和56年)24年前。神戸ポートピア博開幕。拡大する貿易摩擦。ハチの一刺し。「奥飛騨慕情」

・1982年(昭和57年)23年前。日航機羽田沖に墜落。逆噴射。ホテルニュージャパン火災。CD登場。「待つわ」
「今日は何の日」(国際親善デー)

- ・1936年(昭和11年)69年前。料理店の元女中の阿部定が、荒川区尾久町の待合で情夫の料理屋主人石田吉蔵(42)を殺害して局部を切り取る。(阿部定事件)
- ・1943年(昭和18年)62年前。日本美術報国会が創立される。会長は横山大観。
- ・1993年(平成5年)12年前。クリントン大統領が、ロサンゼルス国際空港で出発直前の大統領専用機内に高級理髪師を呼んで散髪する。このため空港の厳戒体制が1時間長引き、批判が噴出する。
- ・1994年(平成6年)11年前。巨人軍の槇原寛己投手が、対広島戦でプロ野球15人目の完全試合を達成する。巨人軍の通算7000試合目。

幹事報告

神谷尚孝 幹事

①先週の中RCとの合同例会会計報告。

8千円×38名分。ワインと冷酒、11,500円を、中RCと折半。ギターバンド謝礼3万円。御夫人からは銘々8千円の会費をいただきました。

②市内9RC会長・幹事会報告《5月13日(金)》。

(1)和歌山青年会議所主催、第3回「ジュニアドラゴンボート選手権大会」への協力依頼。

8月21日開催の上記催しに、救命胴衣(ライフジャケット)にロータリーマークを入れて(1着

5千円程度)、各RC10着以上のお願いをしたいとのことでした。

実施は来期ですので、決定は差し控えて、来期の会長・幹事会へ申し送ることとなりました。

(2)紀ノ川河川敷の清掃イベント協力依頼。
国土交通省が、河川愛護意識の高揚を願って、7月に行いますので、ロータリアンの参加協力をお願いしたいと、河川占用整備課課長より依頼がありました。

③本日の例会終了後、定例の理事会を開催します。

ニコニコ箱

奥村智子 会計

中板君◆少し良い事がありました。

近江君◆合同ゴルフ、不名誉な賞を頂きました、家計大助かりです。役員の皆様ご配慮本当に有難うございました。

保田君◆本日早退します。すみません。

山口君◆先日の第1回クラブ協議会出席御苦勞様でした。

井畑君◆有本先生、先日は有難うございました。

本人誕生日御祝●

稲葉君、土井君、神谷君、坂口君、山本君(古希です)。

結婚記念日御祝●稲葉君。

合計75,000円(累計1,618,183円)

米山記念奨学金

土屋一博 委員長

土屋君◆今期例会は、本日を除いて最終例会まで後5回になってしまいました。皆様どうか米山をよろしくお願いします。

(累計704,000円)

35周年記念BOX

釜中 甫干 委員長

太田君★青木先生、おおきに。

稲葉君★ひさしぶりの例会です。35周年楽しみです。

合計12,000円(累計554,000円)

ロータリー財団

松浦 薫 委員長

神谷君◆ロータリー財団へ。

(計552,00円)

皆様今日は。只今、ご紹介頂きました県立図書館の岡井省三です。本日、伝統ある和歌山東南RC例での卓話を仰せつかったのですが、社会の第一線で活躍されておられる皆様方のお役に立てるかどうか、自分では全く役不足と認識しております。ただ、日頃考えていることを少々体験を交えながら述べさせていただきます機会を与えられたという誠に身勝手な解釈が許しただけならと思ひ、この場を助めさせて頂きます。

はじめに、昨年の秋、私59歳にしてびびりしたことがございました。私ごとで恐縮でございますが、下の娘が結婚するというので、田舎の親爺に戸籍謄本を送って貰ったのです。それに私の生年月日：昭和20年12月12日 出生地：中国遼寧省四平 届出人：母 節子と印されておりました。母親から、お前は満州で生れたということは聞かされておりましたが、このことが戸籍謄本に記載されていることを突はこの歳になって初めて知りました。皆様ご存知のとおり、昭和20年8月終戦、同時にソ連軍が南下、9月、父は捕虜としてシベリアに連れて行かれました。ソ連軍が去ったあと、満州は毛沢東軍、蒋介石軍が入り乱れ、内戦状態に陥りました。そのさなか、12月零下30度の中で母は1人で私を出産しました。いつ日本へ帰れるかどうかという不安の中で、母は生後まもない私に少しずつミルクを与え湯団に備えていました。翌年7月、いよいよ日本へ帰るこの年に至りました。「3歳までの乳幼児は無事に日本へ着けなさいと思われたいので、今のうちにかわいがっておくように」との通知が下されました。山崎豊子の「大地の子」さながらに日本への難民の長旅が始まりました。乳児を抱えた母親達は旅が2週間も続くと母乳が全く出なくなりました。母が常に肌身離さず持っていたのが二つ。その一つは胸に7ヶ月の私を入れた袋と背のリュックです。リュックには、ミルク、たぐさんのローソク、マッチ、クギを打った靴、小さな手鍋、哺乳瓶。！どんだん降りの雨の中でも傘の下でローソクがあればミルクを作ることができたと母の言葉です。同じ年に生れた隊長さんの赤ちゃんは途中で力尽き、内地が見えてきた玄海灘で水葬にされたそうです。しかし、私の母は40度を超える炎天下の中国大陸から1ヶ月の及ぶ逃避行の末、生後7ヶ月の私を満州から連れ帰って来ました。昭和23年10月、バイカル湖近くのイルクーツクに抑留されていた父が帰国、3歳になっていた私と初対面となりました。このように私の命が今日あるのは母親めきでは語れませんので、ちょっと話させて頂きました。

本日のテーマ「言葉が耕す私たちの心」を設定した理由を申し述べさせて頂きます。現在、私達の生活は膨大な量の情報であふれています。しかも、これらのほとんどはテレビを中心とした映像という形で私達に入ってきています。映像は私たちに強烈な衝撃を与えます。最近では100人以上の方が亡くなったJR福知山線脱線事故のニュース、甲越地震の被害、スマトラ沖地震の様子、しかし、場面が切り変わるのもうそれ以上のものがないのも事実です。中国での反日デモの映像、大使館に石を投げつける群衆、日本料理店のガラスを壊やぶる様子、それを止めない警察官、この画面を見て私はある種の感情を抑えようことができずして、この例が示すように、映像情報は人間をともしれば感情的な方向に引きこんでいきます。与えられた映像で人間は深く物事を考えようとはなかなかしません。想像力が鈍るのです。また一方奈良市の女子児童殺害の犯人や大阪市内で幼児をハンマーで殴りつけた17歳の少年はどちらも孤独で自己の欲望を満たすため、自分1人の世界にひたっていたように思われます。現代社会は、ひとりよがりな人間を生み出している気がしてならないのです。そうした観点から私は言葉の役割を改めて問い直してみたいと思います。特に、文字、活字による言葉はじっくりと人の心の中に入りていき、読み返すことができ読み手の生活経験や知識を通じて心情や想いを豊かにし、その行動や考え方に大きな影響を与えます。私たち人間は他の動物と違い言葉で思考しているのです。それで「言葉が耕す私たちの心」というテーマを設定させて頂きました。

●生徒の心を動かした学級通信 ●私は大学卒業後、下津町の加茂第一小学校で教員として5年間勤め、その後下津第二中学校へ転勤しました。昭和47年のことです。当時の下津二中は6つの小学校から約200人の生徒が集まり5クラスです。私は1年生の担任となりましたが、ケラケラする、女子を泣かす、廊下といわず教室の壁の上の方まで靴のあとが付き、荒れた学校という言葉があたりはまるすさんだ空気が支配していました。担任は毎日起こる問題を終りの学級会で取り上げていましたが、早くクラブに行きたい生徒達はソワソワしているそんな状況でした。そんなとき、私はある事にふと気づきました。プリントを配るとそれに目を通す2、3分だけ生徒達が静かになるのです。私はこれだと思いました。それから私は毎日学級だよりを発行することにしました。ワープロもない時代、ガリ版印刷でした。私のクラスへの想い、生徒に対する願いなど書きました。そして「学校中で帰りの学級会を一番早く終わり、クラブに真先に行ける学級にする」と宣言しました。各班ごとにノートを回して自分の意見や考えを1ページ書く、その内容を学級だよりに載せ、生徒の力を借りることにしました。班ノート1ページ書かないで、2〜3行で終わった生徒がいました。この時がチャンスでした。残りのスペースを担任の私が全部書きました。それ以降、白地を残す生徒は1人もいませんでした。出張したときは前日に作っておいて、係に終りのHRで配るように指示していました。担任の私がいなくても代わりに先生が来てくれるとも学級は動いていました。毎月、座席替えをして誰がどこに座っているかわかるように載せました。家庭ではみんな帰ってからお母さん達が夕食後、学級通信を読むのが楽しみだ、と後で聞かされました。気の弱い子の意見が文字になると絶大な効果が出るのです。「授業ベルが鳴ったら先生が来なくても準備しよう」！〇〇君は言葉使いは荒っぽいが、気が優しい。学校への不満や欠点を指摘する内容から学校の良さ、友達の良いところを認める記事が多くなっていきまし。学級の目標も「おはよう」と挨拶する。掃除は早く丁寧にする。服装はきちんとする。と自然に決まりました。学級通信づくりは他の学級にも広がりました。後には全校に広がりました。生徒や担任のそれぞれの想いや願いが学級通信を通じてひとりひとりの生徒達の心を動かしていき、学校経営が困難ないつわった荒れた学校で校長を憂え、優秀な教員を配置し、それでも上手くいかず困っている学校がありました。私は生徒の力を借りていないからだと思います。時代が変わろうとも教育の本質は同じではないでしょうか。

●人の心を動かした一本のオタロウ ●またこんなこともありました。3年生の担任で東京へ修学旅行に行きました。新幹線の東京駅ホームからバスがイドさんの案内でバスに乗り、東京タワー、国会議事堂…と見学した。私はこれはダメだと思いました。生徒が自分の足で東京の街の空気を肌で感じなさいと。次の年、私は1年生の学年主任を任せられました。3年生の修学旅行は東京駅で解散です。これが私の目標です。1年生の遠足では大阪市内で班行動、2年生のときは奈良市内と訓練しました。いよいよ3年生の東京修学旅行です。引率の担任は反対しませんでした。皆異常に緊張していました。旅行会社は名古屋に本店のある大手の観光でしたが、東京解散は絶対ダメだと反対でした。東京で生徒が行方不明になったら捜す方法がない。どの学校もやっていない。トランシーバーすら発達していない。今から25年前のことです。私は責任は学校が持つからと言ってやっとな説得しました。問題がもう一つありました。2日目の箱根の宿に

設備が悪いので名高い旅館が示されたのです。私は風呂が狭いとクレームを付け旅館の変更を申し入れました。M社は「〇〇中学校も泊まります」とか何とかがって変更を受けつけません。「宿泊代3,500円を保護者に頼んで7,000円集めるから」と言っても応じませんでした。私は「この旅行で生徒1人が旅行費用、服、持ち物など5万円かかる。全校では1,000万円の旅行代。せめて2日目の箱根は思い出せる宿に泊まらせて、1万円出すから変更してくれ」と言ったのです。それでもM社の返事はNOでした。そこで、私は「箱根の宿はおたくには頼まない、夏休みに私が箱根へ行って、泊200万円のうち生徒を泊めてくれるホテルを捜して」とM社と決別しました。夏休みに入る少し前、M社から「箱根の宿は〇〇旅館から〇〇ホテルに変更しました」と言ってきました。秋、東京本番です。東京駅から地下鉄に乗る班、山の手線に乗る班とそれぞれ目的の見学場所に散って行きました。集合場所の上野公園に誰一人遅れることなく集まりました。生徒達の綿密な行動計画による贈物でした。そして、2日目箱根のホテルに着いたとき、バスの中で一斉に拍手が起りました。生徒達がホテルに拍手したのです。部屋に落ち着いたとき、一人の生徒が私を呼びに来ました。私をロビーに連れて行ったところには宿泊お一人様12,000円からと書いてありました。生徒達も引率の教員もホテルには大満足でした。翌朝、出発のとき、ホテルの玄関に全員が整列し、生徒の代表が従業員の方達にお礼を述べました。その時です。「支配人の私から一言」と声がありました。引率の教員は勿論、生徒達も何か不祥事も起したのかと一瞬シーンとなりました。支配人は「修学旅行の中学生を泊めるかどうか私は分りません。実は私に中学3年生の子供がいます。今の中学校の様子は知っているつもりです。今朝こんなことがありました。食堂で皆さんの水筒にうちの職員がお茶を入れた際、お茶を床にごぼした。その時、一人の生徒がタオルですぐに床をきれいにふいたんです。こんな生徒さんがいる中学校があることを知って私はうれい。皆さんに泊まらせてもらって本当に良かったです。来年も是非泊まらせて下さい」支配人の言葉に教職員は勿論生徒達も本当にうれい気持ちになりました。生徒達は使った部屋、洗面所、トイレはきれいに掃除して帰ると申し合わせ、たぐさんの雑巾を持参していました。タオルを持って行った生徒もすごいし、そのことを支配人にすぐ報告した従業員の感心もすごい。そのことを生徒に返して下さった支配人もさすがだと思います。後日、M社からの箱根の宿泊代の請求は見積り通りの3,500円でした。

●自分で選ばないも ●下津第二中学校で10年勤めたあと、私は県教育委員会へ転勤いたしました。指導主事や人事主事を経て、教職員の人事を担う教職員課長に発令されたことです。辞令を受け取ら席に戻って15分程した頃です。電話が鳴りました。県立高等学校長の中村先生からでした。先生は先輩でありましたが、委員会へ入ったのが同期で何でも相談させてもらえる間柄でした。後に新高高校校長で退職され、新宮市の教育長を務め、現在和歌山市の教育委員長に就かれたことです。中村校長は私に「世の中で自分が選べない代表的なものの三つ教えてやるよ。一つ親、二つ担任、三つ上司」それで電話は切れました。今、お前は課長の辞令ももらったけど職員はお前を課長に選んだのではないぞ、ということを書いてくれたのです。この言葉は今も私の心に強く残っています。

●こども達の心を傷つけない ●教職員課は教職員が起した事案に対し、懲戒処分を行うところでもあります。あるとき、夏の新任男子教員が女湯に入ったという事例が起りました。一学期も終了し、夏の宿泊研修のことです。夜の研修も終わり11時ごろ、高校のときから同級生だった2人は風呂に行き、またま誰も入っていない女湯に入ったのです。そこへ年配のご婦人が入って来て事件になったのです。結局2人には停職という懲戒処分が決定しました。記者室へ発表に行ったときのことです。「課長、今日は写真と名前持って来たやろなあ」と記者に言われました。持参した資料(ペラ)には名前が載せていませんでした。写真写真も用意していません。「この前言っておいたが、警察やったらすぐ写真写真も出す、写真も名前も出さんよな」としてさういふつもりでたつても事件は起るんや、「名前言わん理由あんのやたら言うてみー」次ぎ次ぎと記者の方に言われっぱなしでした。ずいぶん時間が経ってから、私は「事件を出した2名の教員は、名前がTVや新聞に出てしまったが、自分たちが起したことから、しかし、この間2人の担任の名前で通知簿もらった80人の子も連がいて、自分の通知簿の担任欄の名前が明日の新聞に掲載するとき、子ども達の心に大きな傷を残すのは明らかです。子ども達の心に傷をつけるようなすべきでないと考えています」と言いました。「お前じゃ話にならん」と言って一人の記者が席を立ちました。記者会見はそれまでとなりました。私は委員会に帰り、記者発表がうまくいかなかったことを教育長に詫言いました。教育長は「もう一べん行って来い」とだけ言われました。私は再度記者室に行き、デスクに向っていた記者一人一人に「さっきは言いほすすみませんでした」と謝りました。担当者は教員の名前の載ったペラを配りました。翌日の新聞、各紙とも大きな記事になっていましたが、どの社も教員の名前は載せていませんでした。記者の皆さんが配慮してくれたことに私は深く感謝しました。

●身のまわりの「感」はどうなっていますか ●「感」という字の 音を表しカ、心は意味を表し、心が強く動くこと、という意味があります。皆様は感という字でどんな熟語を想像されますか、感動、感激、感謝、感銘、感慨、共感…。辞書を引てみますと60以上ございました。最近、感動したことはどんなことですか。感激されたことは何ですか。感謝したことはどんなことでしたか。私は教育委員会17年間で一番感激したことは大成高校美里分校の卒業式に招かれ出席したときのことでした。そして、それは卒業生代表の答辞でした。この学校で学んでよかったことが3つある。1つ、想いを同じにする仲間に出会えたこと、2つ、分校の先生方に出会えたこと、3つ、天文台の先生方に出会えたことと、分校には中学校時代様々な経験を学んだ生徒達が入学していました。分校の教職員の指導のきめ細かさは一味も二味も違いました。就職希望の生徒は「お願いします」からには生徒への指導も礼儀から学力まで個別指導を徹底していました。分校は先生が少ないので数学や理科は天文台の方に教えてもらってました。まさに「教育は人なり」と卒業生が改めて教えてくれました。私は、自分の生活で身のまわりの感(感謝、感激、感銘、共感…)を大切にしたいと日々思っています。

●言葉が耕す私たちの心 ●私たちの心と畑はよく似ていると思います。畑は耕さないと育たずと運動場のようにカチカチになるか、又は雑草がおい茂ってどうしようもないようになります。(耕すというのは田を返すという意味)人の心だって、耕さないと放っておくとカチカチになり、外からの声が無入っていかない状況になります。常に耕していかないと心が大切です。耕すのは勿論言葉です。他人の心の痛みが感じられたり、人の生き方に共感できたり、憤りを感じたり、常に心が敏感に反応できる状態にしておかないと、荒んだ心人間になってしまいます。いい言葉、いい話、いい書物、いい友達が大変だと思います。これで私の話を終わらせて頂きます。蛇足でございますが、すでに立派な見識をもち閉鎖を積んでおられる皆様ですが、どうぞ図書館にも足を運んでいただければ幸いです。蔵書は69万冊、新聞は明治12年からございます。ご静聴有難うございました。」